

## 編集後記

著者	森岡 次郎
引用	人間科学：大阪府立大学紀要． 2021， 16， P.123-123
その他のタイトル	Editorial
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10466/00017373">http://hdl.handle.net/10466/00017373</a>

## 編集後記

『人間科学』第16号をお届けいたします。今号では論文3編と研究ノート2編を掲載することができました。執筆者の方々には、貴重な研究成果をご寄稿いただき、ありがとうございました。また、ピアチェックをご快諾いただいた先生方にも、ありがとうございました。

今号では、人間科学分野の教員以外から、昨年度にご退職された名誉教授の村田京子先生、社会福祉学分野の吉田直哉先生、現代システム科学専攻の藤田渡先生にもご投稿いただきました。投稿規定にもあるとおり、「人間科学の領域における学術研究の発展に寄与しうる」原稿であれば、人間科学分野の教員以外からのご投稿でも、編集委員会の審議によって認められたものは掲載可能です。

新型コロナウイルス禍において、私たちの研究・教育のあり方は大きな変更を迫られています。また、大学統合に伴って、教員組織も大幅に改変せざるを得ない状況にあります。

闘うべき相手が「見えにくい」状況の中で、不条理・非合理と思えることも多くありますが、そうした状況においてこそ、人文科学・社会科学的な知のあり方が重要であると信じています。

近視眼的な施策にとらわれず、歴史に学び、国際的な視点を持ち、データと論証のプロセスを大切にする。時代とともに変更すべきことと、安易に変更してはならない大切なことを見極めて峻別する。そうした視点が求められているように思います。

今後とも、みなさまからのご投稿をお待ちしております。

(文責 森岡次郎)